



美豆だより 特別号

平成29年3月吉日
京都市立美豆小学校
校長 高嶋 登

美豆小学校HP QRコード



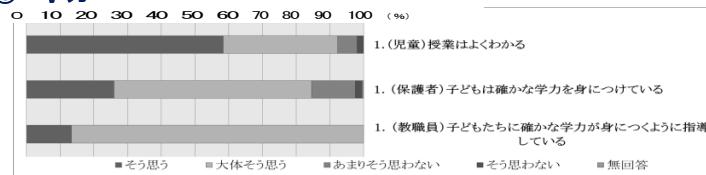
早春の候 皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは、子どもたちや保護者、地域の方々の一人一人の声を大切にすると共に、共通認識のもと連携して取組をすすめ、子どもたちの学校生活をよりよいものにすることをめざしています。

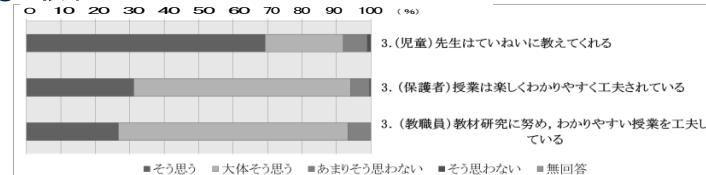
1 学校アンケートより（児童・保護者・教職員の3者比較）

1 学力について

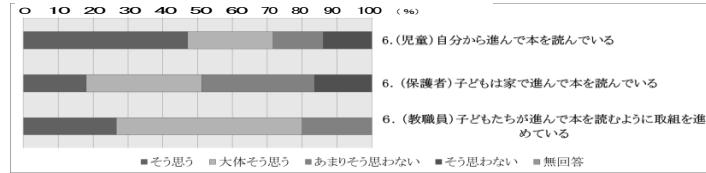
① 学力



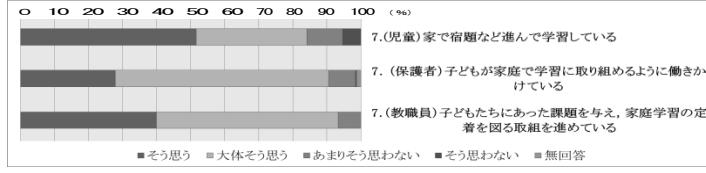
② 授業



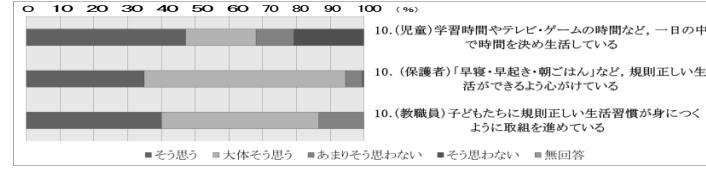
③ 読書



④ 家庭学習



⑤ 生活リズム



児童アンケートより

- 学力・授業・学校の楽しさの項目で「そう思う」の数値が大変高くなっています。生活リズム・あいさつの項目においても同様に「そう思う」の数値が高くなっています。
- 読書・家庭学習・生活リズム・相談の項目で「そう思わない」の数値が高くなっています。

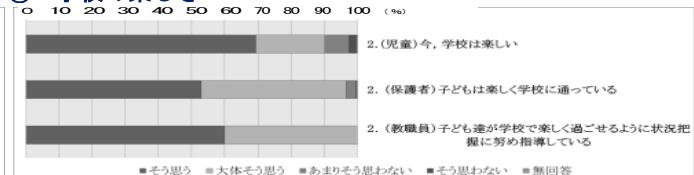
保護者アンケートより

- 家庭学習・あいさつの項目で「そう思う」の数値が高くなっています。
 - 読書の項目で、「そう思わない」の数値が高くなっています。
 - 学校・家庭との連携において「そう思う」の数値が低くなっています。

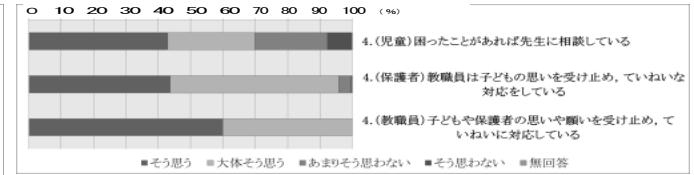


2 生活について

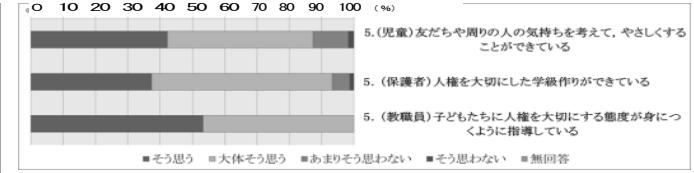
① 学校の楽しさ



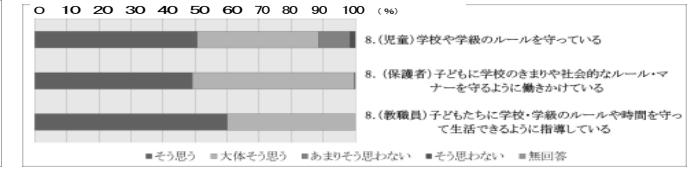
② 相談



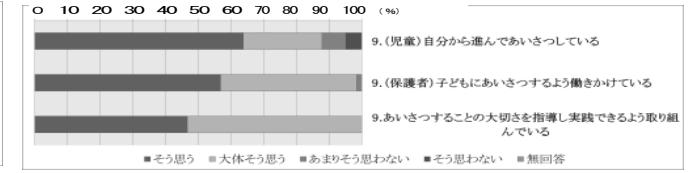
③ 人権（思いやり）



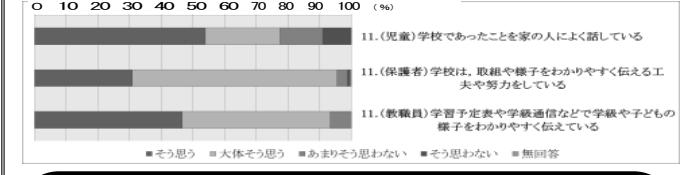
④ きまり



⑤ あいさつ



⑥ 学校・家庭との連携



【児童・保護者・教職員】3者の比較を通して

学力・授業・家庭学習の項目で、児童の意識と保護者・教職員の意識に差があります。このことから、「家庭学習の手引」を活用し、授業と連動した家庭学習の在り方を再考したいと思います。

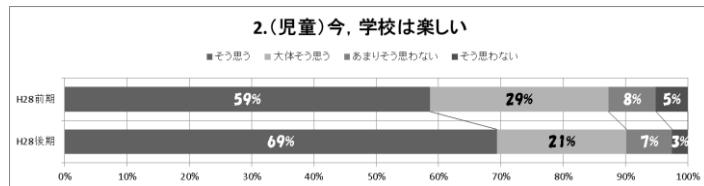
また、学校と家庭との連携が、より一層強く感じられるような取組を進めます。



学校アンケートより（前期・後期の比較より数値が顕著に変化した項目を抜粋）

児童 - - - ○高くなった項目

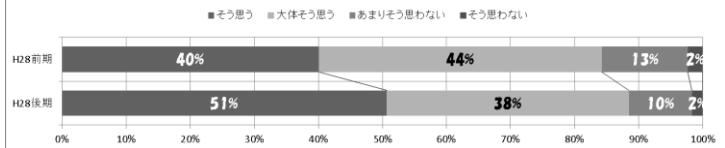
○学校の楽しさ



●低くなった項目

○きまり

8.(児童)学校や学級のルールを守っている

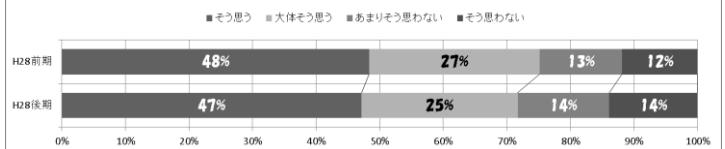


○あいさつ

9.(児童)自分から進んであいさつしている

●読書

6.(児童)自分から進んで本を読んでいる



保護者 - - - ○高くなった項目

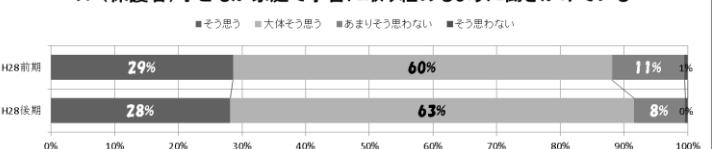
○人権教育

●低くなった項目

●家庭学習

5.(保護者)人権を大切にした学級作成ができる

7.(保護者)子どもが家庭で学習に取り組めるように働きかけている

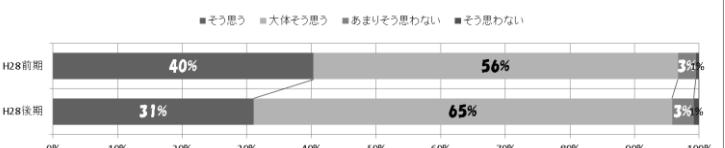


●生活リズム

●連携

10.(保護者)「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活ができるよう心がけている

11.(保護者)学校は、取組や様子をわかりやすく伝える工夫や努力をしている



教職員 - - - ○高くなった項目

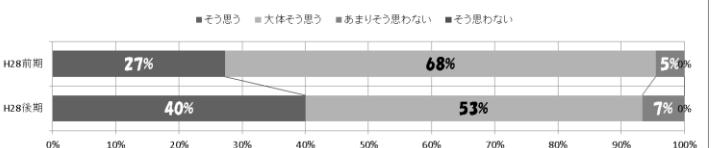
○学力

●低くなった項目

○家庭学習

1. 子どもたちに確かな学力が身につくように指導している

7. 子どもたちにあった課題を与えて、家庭学習の定着を図る取組を進めている

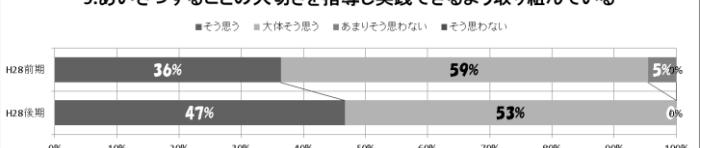


○生活リズム

○あいさつ

10.(教職員)子どもたちに規則正しい生活習慣が身につくように取組を進めている

9. あいさつすることの大切さを指導し実践できるよう取り組んでいる



☆学校評価アンケート 前期と後期の比較を通じた分析

児童・教職員アンケートでは概ね前期より後期の数値が高くなっていました。しかし保護者アンケートでは、人権にかかわる項目以外はほとんどの項目において微減していました。

児童アンケートでは、「いま学校は楽しい」の項目で前期よりも後期の数値が10%～20%数値が高くなりました。これは、運動会や音楽会・大縄大会や持久走大会などの協働活動によるものと考えられます。

「決まりを守る」「あいさつをする」等の規範意識に関わる項目で、児童と教職員において数値が前期より高くなりました。これは、よい行いをしようとする心情の高まりによるものと考えます。同様に、保護者アンケートでは、人権教育に対する数値が高になりました。同様に、道徳教育の取組の成果と考えられます。

しかし、生活リズム・家庭学習・読書・連携に関わる項目において、保護者と教職員の数値には意識の差があることが分かります。学校は、家庭学習の在り方を工夫することや、「家庭学習の手引」の活用を進めることに努め、保護者と連携しながら学力向上と生活リズムの定着を進めています。



【家庭からのご意見】

- 先生の褒め言葉が子どものやる気を掻きたてたようです。褒められると頑張るタイプです。
- 授業で分からぬ事があると、「先生に聞く。」といつも言っています。聞ける環境があるということが素晴らしいと思います。
- 家庭学習のポイントや、学年で読めるレベルの本を紹介してほしいです。
- 授業参観では、どの子も積極的に授業に参加しているのが印象的でした。
- 授業参観の道徳が多いように感じます。算数の授業など他の教科の授業があると、アンケートの授業の内容にも答えやすくなります。
- 校内では挨拶をするのに、家の近所ではしてくれるのは少し残念です。

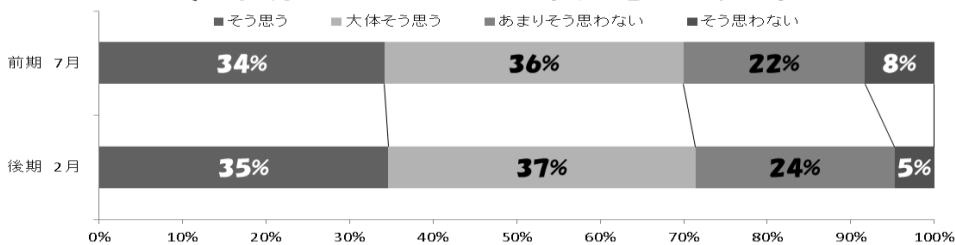
内容を踏まえ今後の学校運営に生かしていきたいと思います。今後ともご理解・ご支援いただきますよう、お願いいたします。

2 道徳アンケートより

美豆小学校では、道徳教育を柱として学校教育活動全体を通した道徳教育の推進と授業改善に取り組み3年目となります。平成28年度は文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」指定校として、研究発表会を開催し授業改善等に取り組みました。取組内容に対する児童アンケートを7月と2月の2回実施しましたところ、以下のような結果になりました。

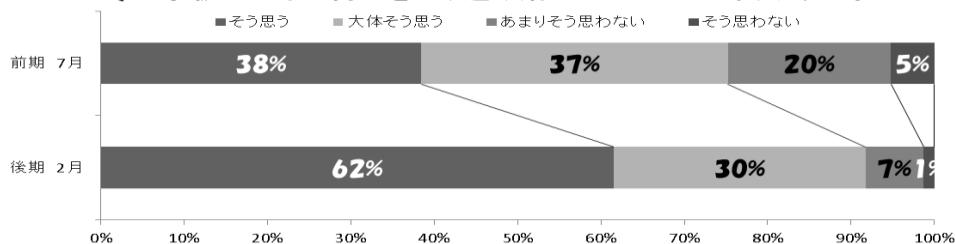
結果を踏まえて、これから教育活動に活かしていきます。

Q1 自分にはよいところがあると思いますか。



前期と後期の数値には、あまり変化が見られませんでした。肯定的意見が微増しました。「そう思わない」が3%減少したことを成果として捉えています。

Q2 学級みんなで何かをやり遂げ嬉しかったことはありますか。



「そう思う」の数値が、前期より後期の数値が約1.6倍に増加しました。体験活動や協働活動を重視し取組を進めた結果、お互いを認め合う集団の育成に寄与したと捉えています。

《児童道徳アンケートの自由記述欄より》

【低学年】

- 難しかったけれど、練習したからできた。嬉しかった。
- みんなで頑張ってうれしかった
- 優しく教えてくれて嬉しかった。
- 心を一つにすることが嬉しい。
- またやってみたくなる。

【中学生】

- みんなが声をかけ合い成長できた。
- やり遂げられたことがうれしかった。
- 苦しい事でも、みんなとなら楽しくなった。
- 一つひとつを終え達成感を感じた。

【高学年】

- この仲間だからできたと思った。
- 協力することが改めて大切だと感じた。
- チームワークのもつ力の大きさと素晴らしさに感動した。

教職員における道徳教育取組の成果

先生にとって道徳① 道徳的価値を意識した 言葉のかけ方



先生にとって道徳② こんな子に育てて欲しいと、 明確な指導観による言葉かけ



道徳教育を柱とした取組を通して



将来の展望
夢を語れる子ども

希望と勇気

規則尊重

勤勉努力

もっとがんばろう。
やればできる。

友情信頼

私の頑張りがあった
からこそ成功できた！



全員での取組（本気でやりきる）⇒努力・忍耐
成功体験による成就感⇒自己肯定感の育成

- ・集団としての人権意識は向上しています。継続して自己肯定感の向上に向けた取組を進めていきます。
- ・児童の規範意識についても向上しています。これは、道徳教育を柱とした取組の一端と捉える事ができます。

③ 「学校運営協議会」による学校関係者評価（外部評価）

【規範意識向上に向けて】

前期には、「時間を守る」等、規範意識を高めてほしいというご意見をいただき、「予鈴を設ける」「挨拶週間の取組」などの取組を進めた結果、規範意識（挨拶に対する意識等）は少しづつ向上してきていることが分かりました。

◇今後も3校（美豆小・明親小・大淀中学校）で連携し、手を携えて頑張ろうとする姿勢を大切にしてほしい。

【高度化する学習内容について】

平成29年度から、中学年（3・4年生）から英語教育が始まります。今回の改訂では主にコミュニケーション力を養います。学校では、英語の歌に親しんだり、休み時間に英語の歌を流したりして、英語に親しむ活動を取り入れ、取組を進めていきます。英語の時間は増えますが、他の学習時間は同じままです。学習内容はどんどん高度化しています。子どもたちは、学習内容を理解しようと頑張っています。

学力向上に向けて言語活動の充実（話す・聞く・書く）を英語教育と共に進めていきます。また、家庭での学習習慣の定着を図ると共に、児童の意識改革を進め、計画的に学習に取り組めるよう、教職員一丸となって取組を進めていきます。

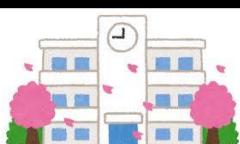
◇子どもたち自らが「学ぶ価値」を感じ、将来の展望を持って努力していくようにしていかなければならぬ。地域の子どもの数が減っている中、教育に力を入れて美豆地域を発展させたい。学校の学力向上に向けた取組を推進してほしい。

【同じ意識・同じ価値で地域・家庭・学校が連携して】

図書ボランティアさんの温かな読み聞かせや、米作りを通した体験学習、ビオトープ学習、和太鼓や卓球、もちつき・ふれあい行事等、様々な場面で子どもたちを温かなまなざしで支え導いていただきました。力を出し切ったところで褒めるだけでなく、力を出そうとするところも前向きな態度として褒めていただきました。

◇道徳授業で、「町を守る」《防災》、「夏祭り」《郷土愛》の教材を作成し、子どもたちを見守り育もうとする地域の人々の心を子ども達に伝えられたことは大変良かった。

◇スマートフォンを乳児に与えぐする子をあやす母親がいる時代、弊害のないよう、これからもしっかりと学校で教え導いてほしい。地生連も含めてこれからも、子ども達の心をつかんで取組を進めていきたい。今後も地域・家庭・学校が連携して、様々な目で子どもたちを見守り育んでいきたいと思います。



ご多忙の中、学校評価へのご協力ありがとうございました。情報量が多く、一部の数字等見えにくくなりましたがことお詫び申し上げます。

※ホームページに掲載していますので、こちらもご覧ください。